建設企業常任委員会資料
2025 年(令和7年)9月26日
都市局道路安全室道路整備課

山陽電鉄藤江駅バリアフリー化に伴う周辺整備について

山陽電鉄が藤江駅のバリアフリー化の整備を令和５年度から設計に着手し、令和９年度末の工事完成予定で進めているところです。

つきましては、藤江駅のバリアフリー化にあわせ、本市が実施する周辺整備の内容及び今後のスケジュール等について報告します。

１　藤江駅周辺整備

藤江駅のバリアフリー化にあわせて周辺整備を一体的に実施し、誰もが安全安心に利用できる快適で住みやすい都市基盤整備を行います。

⑴ 整備経緯

令和6年5月に障害者団体、子育て世代、地域、関係機関の方々と藤江駅周辺まちあるきを実施した際のご意見やご要望に応える整備を予定しております。

なお、整備範囲は通学路や生活関連道路に位置づけられており、かねてより地域から要望のある交通安全対策も兼ねております。

⑵ 整備内容

・藤江駅駐輪場の一部縮小及び仮駐輪場の整備
・藤江踏切の拡幅（歩道設置）
・駅前ロータリーの整備
・踏切から駅北側円形交差点に至る道路（藤江３３号線）の歩道整備
・関連道路（藤江３４号線ほか）の区画線設置等の整備

２ 事業費

全体事業費　約 1.5 億円
・藤江踏切拡幅約 0.8 億円
・その他周辺整備約 0.7 億円

３ スケジュール

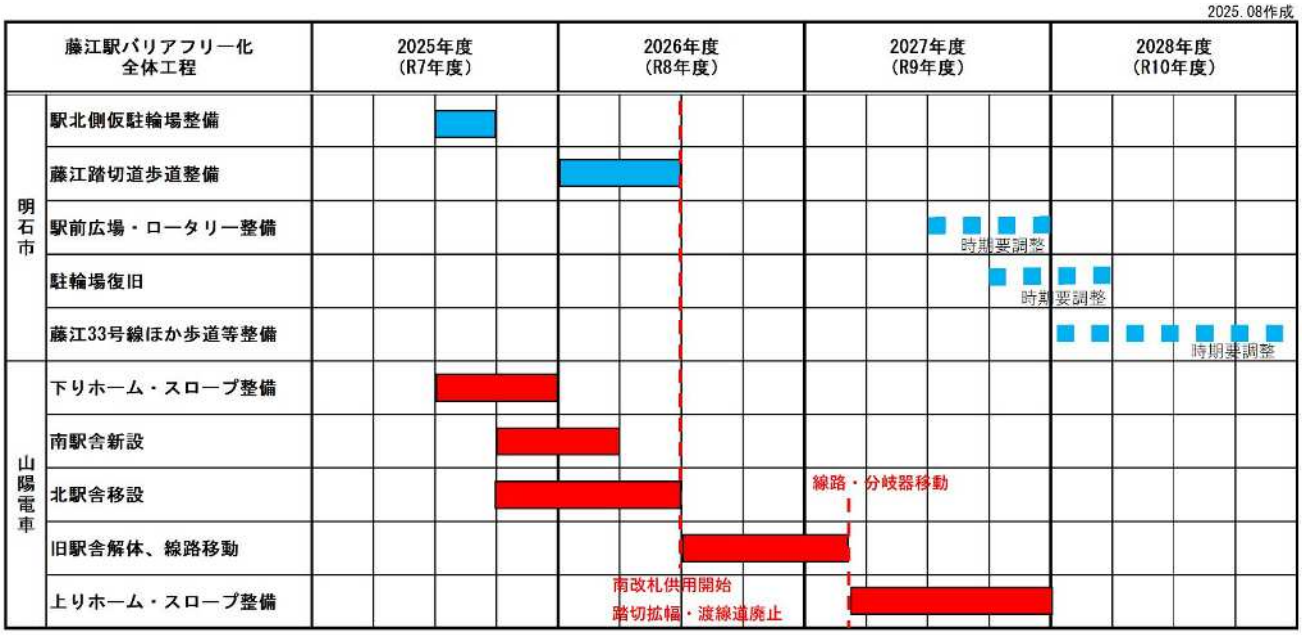
山陽電鉄はバリアフリー化工事の現地着手を令和７年１０月頃から予定しており、南駅舎の供用開始を令和８年秋頃、上りホームスロープ整備を含めた全体の整備完了時期は令和９年度末を目指しています。

明石市が実施する周辺整備のうち、駐輪場につきましては、北側の改札、駅舎、トイレの新築と工事ヤード確保のため一部を縮小し、藤江駅前オアシスの北側に仮駐輪場を整備予定です。さらに、藤江踏切の拡幅による歩道設置については南駅舎の供用開始にあわせる予定です。

また、その他の周辺整備を行う時期は、藤江駅のバリアフリー化工事を優先させることから、現時点では破線で示した令和９年度以降を予定しております。

駐輪場の復旧方法等、現時点で未定の部分も含まれますが、今後も引き続き山陽電鉄と連携しながら円滑に事業を進めていきます。

2025.08作成



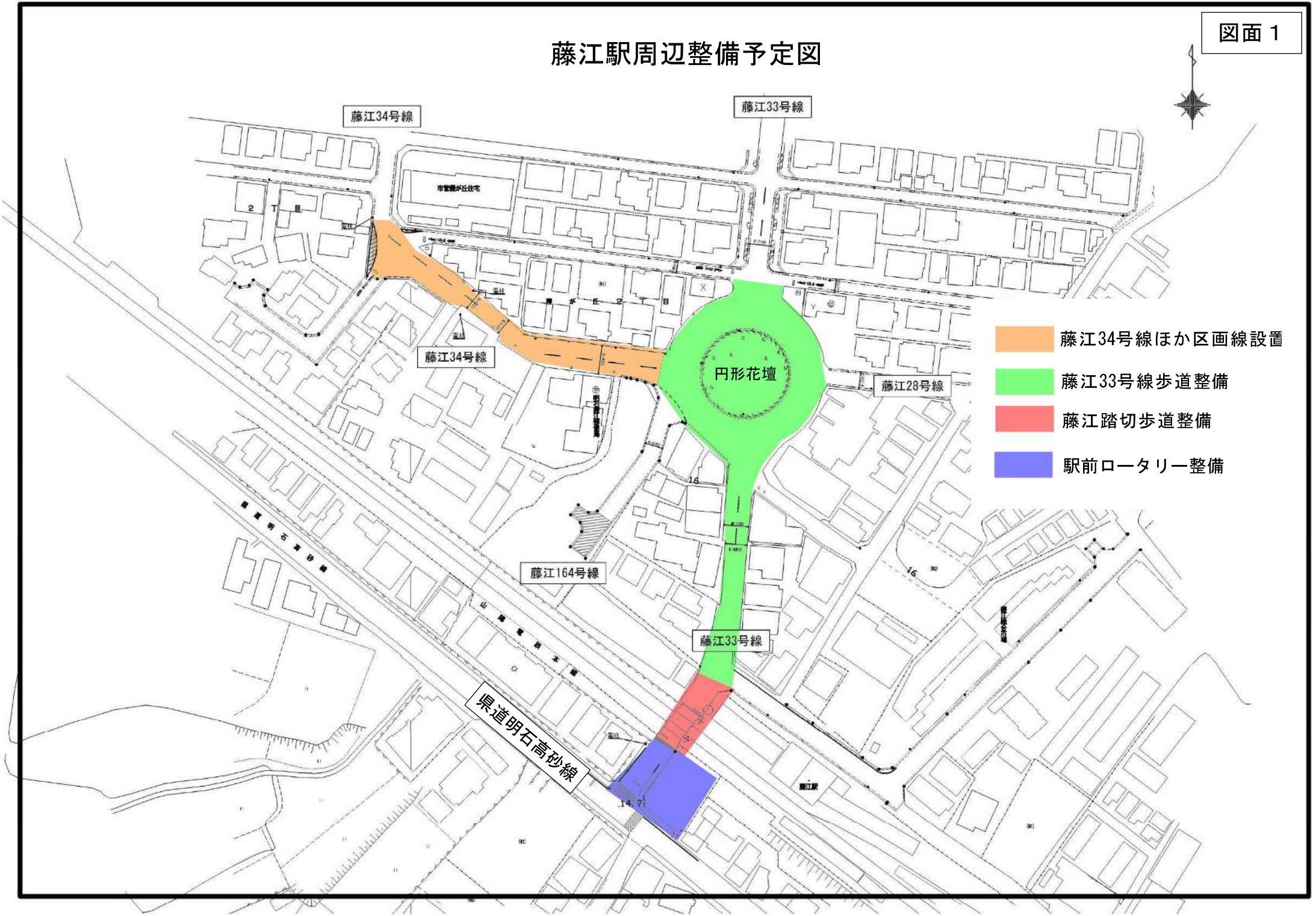
４　添付図面

・図面１：藤江駅周辺整備予定図

・図面２：藤江駅改修図（参考）

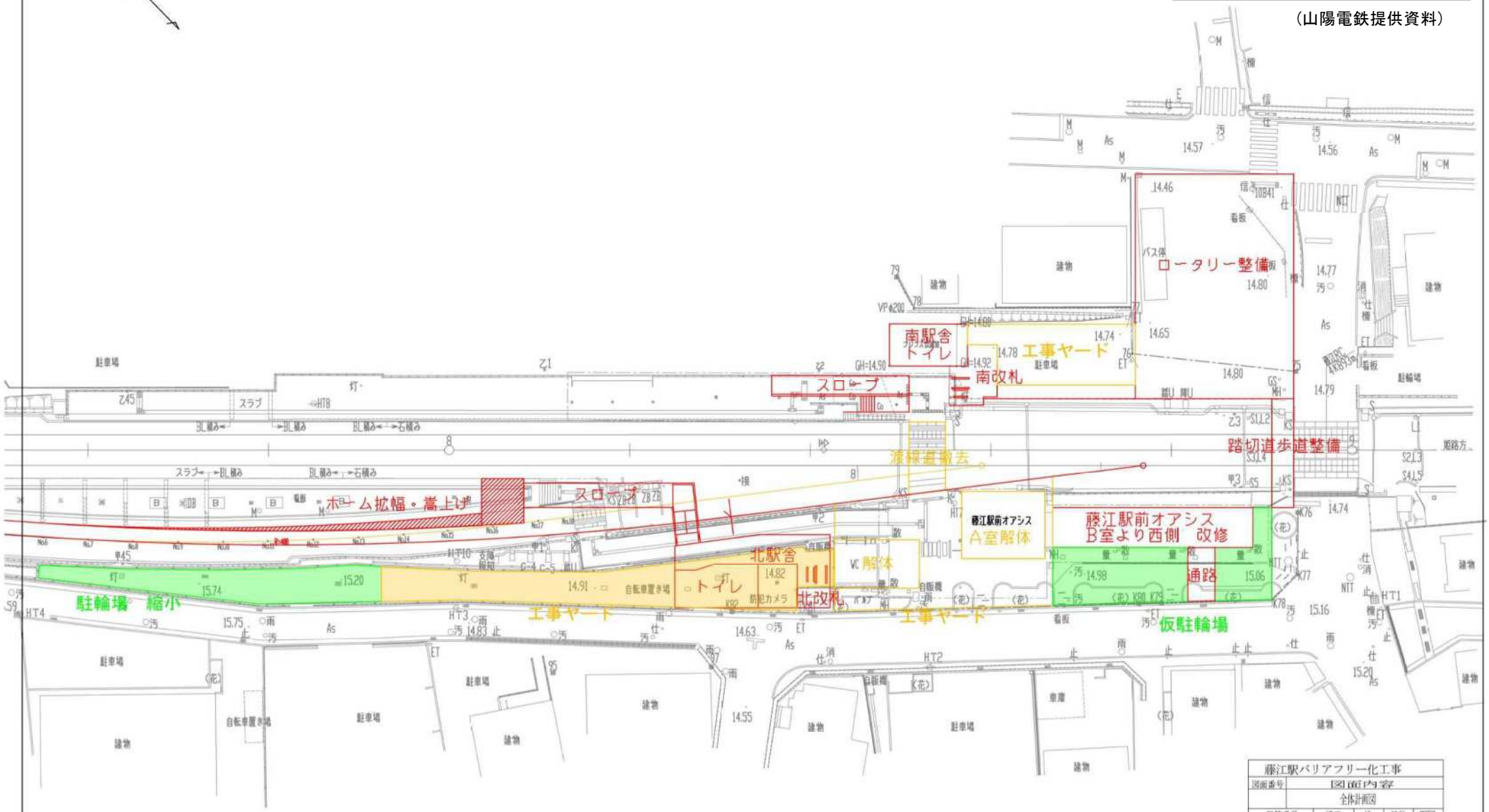
図面１

藤江駅周辺整備予定図



図面２
藤江駅改修図（参考）

（山陽電鉄提供資料）



藤江駅バリアフリー化工事				
図面番号	図面内容			
	全体計画図			
保管番号	縮尺	検	設計	写図
年　月				
山陽電気鉄道株式会社				

※現時点での計画に基づきます。今後の協議や設計によって変更となる可能性はあります。